第百六十號

NAMBEI SHIMBUN

11 de Novembro de 1937

週刊南米

サンパウロ市ピレーダスレー地
モッタ三八一番
發行所 南米報社
購讀料 一年 三二ルミ
廣告料 一段 一〇六ルミ

汽 東麒麟鳳 GOTO & C.IA Caixa 528-S.PAULO

言論

新總領事の着任

△

元青島駐在帝國總領事坂根準三氏がサンパウロへ新任され愈々着任した、是れより二三年の間御役目まことに御苦勞なことである。

初代人情總領事故松村さん以來入れ交り立ち替り、我々はこれで幾人の總領事を迎へた事か、斯くの如く總領事を送迎すること恰も朝に旅客を送り夕に越客を迎ふる宿場女郎の如し等と言へば、在留民自らを辱かしめる甚だ無禮な申分かも知れないが、只管彼等の歡心を求めて何か爲めにせんとする野心家が相當に爪牙を磨いてゐるし、斯樣なものつて種々の案や仕事が行はれる事實が有るのだから仕方がない。

△

如何なる時代の總領事も着任當時はいづれも白紙を以つて臨むらしいが、それが何時の間にか何かの色にそまつて了ふのが常例で、拔群の傑物でもない限り絕對白紙で終始すると云ふことは仲々困難であるらしい世に謂ふ、負ぶつた兒よりも抱いた兒とて同じ自分の子供であり乍ら、抱いた兒の方がヨリ可愛いといふのも、たしかに人情の强い一面ではあるが、これを從來の例に徵するとサンパウロに於て常に接近して來る一部の人間から聞かされたり見たりする事物を以て、在伯邦人普遍の眞理だと誤認しがちである。『俺は人民達よりも一段カベサが良いぞ』との自惚れ臺慢心から假令後から正しい人物が注意をしてやつても、遂にその先入觀から脱けきれないで全く在留民の意見や要求とは反對したことをやる、即ち衆智を求め廣く民意に訊く雅量を失ひ認識不足專斷橫暴勝手放題の封建政治を生み果ては公正を愛する同胞をして義憤せしめた例は決して尠くない。

尤も『ヒゲ掃除』や又『皿ねぶり』を專業とする幇間的存在から言はせたら、彼等の存在は絕對神聖なものであるから人民側の意見だとか註文とか左樣なことに毫も斟酌の必要はないかも知れないが一体全体『總領事は誰れの爲めに何を爲しに來たのだ?』と云ふことがハッキリ解つたならば自然そんな莫迦氣た考へ方もなくなる筈である。

△

さりとて我等は必らずしも彼等が抱いた一部の兒がヒゲ掃除や皿ねぶりとは云はぬ、唯併しながら今日迄吾等が經驗したところではまことに遺憾ながら比較的正しい意見を有つて居る人、マジメな人物或はほんとうに學問もあり識見も高いと云ふやうな人物が多くの場合その所謂『負ぶつた兒』であり、又彼等の觀野にも映らぬ微細な存在であつたり甚だしきは『注意人物』であつたり、不幸にして『赤字』であつたりすゝ尤も相當にもの、解つたと言はる、人でも余程人物が出來てゐないと眼ろオベッカを乘れて接近して來る奴には、どうしても乘せられ易い、此奴は油斷がならぬと思ひつゝも閣下だとかドトールだとか大旦那だとかセンベルゴンニヤにも甘言を以て接近して來るものには知らず識らず釣られるものだが一方獨立獨步別に彼等の御世話にはならぬ、補助金がなんだ、保護指導が何んだ、俺達は俺達で自らを治めて進むものだ、といふ氣慨ある『當り前の人間』は何か癪に遮つた用事でもなければ減多にそう云ふ方面へは出入りせぬといふ始末、タマ〳〵出入することがあつても、生マジメな人物はどブッキラ棒であつたり無愛想であつたりするので兎角お世辭を好む外交官から誤解され妙な眼を以てニラマれてゐる場合が尠くない。

△

中にはそうした生マジメな人物が前任領事の誤解や偏見から何時迄經つても領事館のカードに有難くもない『赤字の異彩』を放つて居ると云ふ實に阿房らしい話もある、彼等の所謂不良分子、注意人物だとするものにも大分こうした誤解や偏見から來てゐるものもあるらしい、況んやそれが苦い良藥的硬骨漢に於いてお

やだ。

△

只今、白紙を以て來任したであらう新しい總領事に對し我等は直ちにア、して呉れこうして欲しい等とは言はぬ、又前任者がどうであつたこうであつたからと云ふ野暮は言はぬ、唯『抱く兒は可愛くなるのも人情ではあらうが負ぶつた兒もやはり陛下の赤子であり民族發展の先驅者として惡戰苦鬪して居る者』だといふこと、幇間的一部の存在こそ寧ろ大いに警戒を要すること、そしてこれ等僅か一部分の意見に囚はれる樣なことがあつたら、やがて廿萬同胞の普遍意志は蹂躪せられて飛んでもない方向に橫車を押す結果となるであらう事を前以て警告して置きたい。

△

昨年のこと、林大將が首相の印綬を帶びた時、ラヂオのマイクロホンを前にしたならば豈に廿萬同胞のみの悅びならんや。

△

昔水戸黃門は身を以て親しく民情を知らうと苦心した、今日の總領事に菅笠草鞋掛けで同胞集團地を步き巡り黃門式奇談逸話の材料を新聞に提供して呉れとはいはないが、田舍に巡つたら切めて百姓のサッペ小屋にも眠りフエジョン、アロースの味はひを眞劍に體得する位の心構えがあつて欲しい、若し幸にして一切萬事がこの調子で行つて呉れたならば豈に廿萬同胞のみの悅びならんや。

△

昔の蒙古に黑焰立上るアジヤの嵐として今や世界史上に再臨しつゝある

今や蒙古は極東の火藥庫として、何人にも認められてゐる、此度は德王を中心とせる蒙古民族の蒙古が漢民族の幽閉から解放され、朋朋なるツランの同志が更に廻つてくれれば、そこにまた公債所有の力がそれだけ培養されるわけで、その力

財界方面では何う見る?

事變費廿五億

公債の消化は憂無し

出來るもデキないもない

【東京發】去る七十議會で可決された公債發行額九億一千五百万圓七十一議會で可決を見た分の四億四千二百万圓と、この二十億圓を合算すれば、本年度の公債發行額は實に三十三億五千余万圓といふ巨額に達するわけである、吾人は敢て此の金額に驚くものでなく、また怯ゆるものでもないが、かゝる巨額の公債發行と直接の關係を持つ財界方面では一体これをどう見てゐるか左にすでに確定した分は別として來るべき二十億余の

追

加豫算を中心に(一)その財源は何によるべきか(二)その消化をどう期待するか(三)その影響は如何と三項目の質問をもつて財界人の意見を徵した結果を要約綜合して見ることゝする

財

源この全額を一時公債によるのが適當であるとの回答は壓倒的で、その理由とする處は現在の段階に於いては、增稅にも限度があり、殊に市場入は增稅そのものが稅種の如何を問はず、市場心理を恐怖せしめることを擧げ、かゝる尨大なる經費は兎に角、一時公債によるべきが至當であるとなつて居る、もつともまた一部には公債公當說を主張しながら、かゝる際を利用して資上說の復活が唱へられるのも止むを得ないとの意見もあり、また兵役免除で、居る

更

らに愉快な主張として、かゝる際のことだ女今直ちに明言は出來ないが一時日銀が引き受けるとして、それだけの資金が民間に廻つてくれれば、そこにまた公債所有の力がそれだけ培養されるわけで、その力は如何と三項目の質問をもつて財界人の意見を徵した結果を要約綜合して見ることゝする

財

源この全額を一時時局の社會的意義から考へての事だそうである。消化この点に關しては、すべて樂觀的である、現に獻金の狀態や、街々にあふれた國民一致協力の態勢から見れば何等憂ふるに足らず殊に我が國の國富は最近頓に增大してゐるのだから、これ位の金額は少しも驚くに足りないとして居る、しかし

金

融業者の意見としては公債發行條件は過去にとらはれることなく、消化易いように仕向けなければならないとの意見のあることは注目すべきであらう即ち、この巨額の公債を民間がどれだけ持ち得るかは今直ちに明言は出來ないが一時日銀が引き受けるとして、それだけの資金が民間に廻つてくれれば、そこにまた公債所有の力がそれだけ培養されるわけで、その力は大海の一滴に過ぎないが

世界史に再登場する

大蒙古の全貌

之れを救ふ者は誰れ?

△

蒙古の名を聞くものは直ちにゴビの沙漠、ジンギスカン、ラマ寺、廣漠たる平原、砂丘のラクダの話を聯想するであらうけれども、それは前期的なるツランの同志が更生したことを祝福しなければならぬ

△

漢民族から呉端者扱ひをされたる蒙古民族は隣りのツラン滿洲民族の帝國にならひ察南自治政府の誕生は永年の宿望であつた

北支五省と一般に通稱するが、漢民族とは隔離されてゐることが、萬里の長城によつて事實の上に証明されてゐる

清朝政府は、蒙古民族に對しては、徹底化されたる政策を行ひ漢人と結婚をさへ禁じ、滿朝より出てゐる清朝政府は蒙古王族と結婚政策を行ひ、滿蒙兩族の均衡を行つたのであつた

清朝時代は、現在の北支五省のうち察哈二省は分離されて蒙古とされてゐたのであつて、その時分は極めて平和な自然を描寫する滿洲にも似た獨特の生活を送つて居つたのである、然るに清朝政府が民國元年に倒れるや內蒙は漢人の植民地と化し全く彼等のために生活權は奪はれ、生地さへ掠奪され積もつた憎惡が発に今回の內蒙獨立の素因となつた

△

然らば外蒙は清朝時代から如何なる關係に置かれたであらうか、クーロンに辨事大臣を置き、外蒙統治は內蒙とを分離して統治政策を行つたのである、されど遺憾ながら外蒙は北邊の地として統治政策が行き届かなかつた爲め、ロシア帝國の義は外蒙の人民を煽動して支那辛亥革命に外蒙獨立の導火線を造り、その干涉政策は支那北平政府との摩擦激化の燃烈を釀生せしめたが、論するまでもなく無力なる北平政府の力では到底及ばず、遂にロシア帝國は外蒙に一九一二年露蒙修交條約を結締するに至つた

△

その第一條にロシアは自主的政權並に自國軍隊を維持せしむるために、外蒙政權を援助し、且つ同政權はロシアの援助によつて支那軍隊の駐屯及び支那人の植民を許可しない事を約したこと

ことであるから、大抵のことは甘受せねばならぬゆえんである、相當の影響は覺悟せねばなるまいとして居る。

である。然し一時傳へられたブリュッヘル將軍とスターリン氏との確執は無根らしく兩者の關係は大体圓滑であると云はれてゐるから果して然らば當分極東はブリュッヘル將軍の寸法に出でるものと考へねばならぬ然らば極東赤軍はどう出るであらうか。今の所赤軍は色々の情勢から見て積極的に動かないで靜觀の態度を取るであらうとの觀測が下されてゐる。これは一方支那に於て極東赤軍が靜かに支那事變の成行を注視しその進展に從ひ

日本

の多少弱るのを待ち動き出さうと云ふ肚と、今需ソ國境に於てソ聯が積極的態度を執ると日本側を刺戟しその態度を積極化せしめる口實を與へることになるのをソ聯は恐れてゐるとの觀測が行はれてゐるが、一部には地中海警備に關するニヨン會議でのソ聯の橫領ぶりに鑑みやがては極東に於てもソ聯はこれと同樣の態度を取り兼ねまじとの觀測もある。

防共陣愈堅し

日獨伊

協定調印終了

【東京發】六日午前十一時ローマに於て日獨防共協定に伊太利參加の調印を了つたので、之れを記念すべく同日夜外相官邸に於て駐日伊國アウリッチ氏及びドイツのデイルクゼン兩大使を中心に祝賀晩餐會を開催した、折柄南國大使館になじみ深い麻町、芝兩區の青年團、國防婦人會、愛國學生聯盟の學生等約二千五百名が出動盛大な提灯行列を行つた

無力な九國會議

九國會議の日本側代表再招請に關する對日回答文は七日駐日ベルギー大使が外相官邸に廣田氏を訪問正式に之を手交したが再招請によつて變る事なく拒絕の回答を發すると察せらる

極東の赤軍三十萬は

いつ頃動くか

支那援助は是れから

【ワルソー發】ポーランドに集まつてゐる諸情報によるとソ支不可侵條約に基きソ聯が飛行機百七十臺、その他戰鬪器材と操縱人員をソ聯から支那に送る代償として支那は

共產

主義を容れるといふのであるが、今迄の所ソ聯は二十臺の戰鬪機と若干の操縱者を支那に送つたことは動かぬ事實と云はれてゐる。ソ聯の軍用機は全部で六千臺でその中極東には七個旅團が置かれてゐるが、一個旅團には三個大隊又は四個大隊の編成であり、一個大隊は三個中隊から成り、一個中隊は九機から成る。(一重爆擊機は一個中隊に四臺)であるから大体ソ聯空軍勢力の見當がつく譯である。即ちスパスコエの第五十一旅團、ハバロフスクの第二十六旅團、ニコリスクの第二百九旅團、ポチカリヨヴオの第五十旅團、次に

水上

機部隊では浦鹽の水上一個旅團、ホルロの第四十八旅團、ハバロフスクの水上第百十旅團があるが、この外にウゴリアナに一個旅團があるとの說があるがこれは眞僞不明である。ソ聯は本年中頃から飛行隊を四つの体形として編成しはじめたその一つは爆擊空軍四個軍團でそのうち二個軍團は夫々三個旅團から成つて居り、他の二個軍團は夫々二個旅團から成つてゐる。一個旅團は重爆擊機四個大隊と遠距離偵察機一個中隊より成るものであるがこれ等はヨーロッパ・ロシアに置いてあり極東には置いてない

その

二は飛行樂團で軍管區司令官の下に種々の飛行機を集めてゐる。その三は騎兵、步兵などの地上部隊に夫々固有の偵察機中隊を附屬せしめてゐる。その四は空中輸送部隊でこれは本年新しく出來たものでレーニングラッド、白ロシアのギエフモスカウ、オムスクの四ケ所に置かれてゐる。この他イルクーツクにも置かれてあるとの說があるが、この運送部隊一個旅團は步兵の一個狙擊聯隊を積載し得る。ソ聯全体に百七十万の陸軍兵力があるとしてその何れの師團を積載することにしてゐるかは不明であるが

機械

化兵力を運送することにしてゐるのは明らかであると云はれてゐる戰車は全体で七千臺あり極東には千三百臺を置いてあるものと計算されオロシノフ、ハバロフスクチタに夫々一個旅團を置いてゐる。また極東に駐屯するソ聯軍は十九万から三十三万の間であると云はれハバロフスク浦塩間の鐵道は複々線であるが、この兩地間に幅十メートル程の自動車路が完成した。然しトハチエフスキー元帥事件以來赤軍の素質に急變化が齎らされたとは否定出來ない樣だ。技術的指揮統制は精神的統制とは別になり革命

當時

のやり方に復歸し軍の指揮は機械の操縱のみとなり即ち政治教育はコンミターンの職分となり彼等は從來通りの『祖國を護れ、黨を護れ、赤軍のために働け』と兵を教育してゐるがコンミターンは世界の情勢に暗く多くは經本を讀む程度になり次第に赤軍に精神的方面の缺陷が現れ始めたと見るものである。

又ウクライナ等の如き開化の程度低い地方に對しては從來の懷柔主義のみに踏み止らず更らに彈壓を加ふるに至つた。宗教の欲求が一般に擡頭して來た事實なども

最近

の著るしい變化であるといふ。次に反ターリン運動であるが、以前は主義の衝突であつたのがトハチエフスキー事件からスターリン個人に對する反對運動となり智識階級に積載し得る。ソ聯全体に百七十万の陸軍兵力があるとしてその何れの師團を積載することにしてゐるかは不明であるが

機械

化兵力を運送することにしてゐるのは明らかであると云はれてゐる戰車は全体で七千臺あり極東には千三百臺を置いてあるものと計算されオロシノフ、ハバロフスクチタに夫々一個旅團を置いてゐる。また極東に駐屯するソ聯軍は十九万から三十三万の間であると云はれハバロフスク浦塩間の鐵道は複々線であるが、この兩地間に幅十メートル程の自動車路が完成した。然しトハチエフスキー元帥事件以來赤軍の素質に急變化が齎らされたとは否定出來ない樣だ。技術的指揮統制は精神的統制とは別になり革命

當時

のやり方に復歸し軍の指揮は機械の操縱のみとなり即ち政治教育はコンミターンの職分となり彼等は從來通りの『祖國を護れ、黨を護れ、赤軍のために働け』と兵を教育してゐるがコンミターンは世界の情勢に暗く多くは經本を讀む程度になり次第に赤軍に精神的方面の缺陷が現れ始めたと見るものである。

又ウクライナ等の如き開化の程度低い地方に對しては從來の懷柔主義のみに踏み止らず更らに彈壓を加ふるに至つた。宗教の欲求が一般に擡頭して來た事實なども

最近

の著るしい變化であるといふ。次に反ターリン運動であるが、以前は主義の衝突であつたのがトハチエフスキー事件からスターリン個人に對する反對運動となり智識階級に存在するものは勿論、農民階級にウクライナ地方に於てこの氣分が鬱然としてゐるといふ。スターリンの子供が誘かいされたとの風說の眞僞は未だ不明であるが斯る風說の起る所以も以上の点にあると云ふ。問題のブリュッヘル將軍が目下ハバロフスクに居るのは

事實

であるし同將軍が最近ウランバートル(庫倫)を訪問したのも事實

前してこの條約をめぐりて露支國交の激化まで發展化し、ロシアは歐洲大戰の結果極東政策に怠慢となり、ロシア革命後はソヴエートの魔手は尖鋭し、革命直後白系のアタマン、セミヨノフ將軍の如きは內外蒙を一丸とする赤色防波堤を造らんとしてセミヨノフの汎蒙古運動はバイカル湖を中心として蒙古王族を合して大蒙古建設を企圖せんとしたのである

△

清朝政府は、蒙古民族に對しては、徹底化されたる政策を行ひ漢人と結婚をさへ禁じ、滿朝より出てゐる清朝政府は蒙古王族と結婚政策を行ひ、滿蒙兩族の均衡を行つたのであつた

清朝時代は、現在の北支五省のうち察哈二省は分離されて蒙古とされてゐたのであつて、その時分は極めて平和な自然を描寫する滿洲にも似た獨特の生活を送つて居つたのである、然るに清朝政府が民國元年に倒れるや內蒙は漢人の植民地と化し全く彼等のために生活權は奪はれ、生地さへ掠奪され積もつた憎惡が発に今回の內蒙獨立の素因となつた

△

然らば外蒙は清朝時代から如何なる關係に置かれたであらうか、クーロンに辨事大臣を置き、外蒙統治は內蒙とを分離して統治政策を行つたのである、されど遺憾ながら外蒙は北邊の地として統治政策が行き届かなかつた爲め、ロシア帝國の義は外蒙の人民を煽動して支那辛亥革命に外蒙獨立の導火線を造り、その干涉政策は支那北平政府との摩擦激化の燃烈を釀生せしめたが、論するまでもなく無力なる北平政府の力では到底及ばず、遂にロシア帝國は外蒙に一九一二年露蒙修交條約を結締するに至つた

△

その第一條にロシアは自主的政權並に自國軍隊を維持せしむるために、外蒙政權を援助し、且つ同政權はロシアの援助によつて支那軍隊の駐屯及び支那人の植民を許可しない事を約したこと

ことであるから、大抵のことは甘受せねばならぬゆえんである、相當の影響は覺悟せねばなるまいとして居る。

である。然し一時傳へられたブリュッヘル將軍とスターリン氏との確執は無根らしく兩者の關係は大体圓滑であると云はれてゐるから果して然らば當分極東はブリュッヘル將軍の寸法に出でるものと考へねばならぬ然らば極東赤軍はどう出るであらうか。今の所赤軍は色々の情勢から見て積極的に動かないで靜觀の態度を取るであらうとの觀測が下されてゐる。これは一方支那に於て極東赤軍が靜かに支那事變の成行を注視しその進展に從ひ

日本

の多少弱るのを待ち動き出さうと云ふ肚と、今需ソ國境に於てソ聯が積極的態度を執ると日本側を刺戟しその態度を積極化せしめる口實を與へることになるのをソ聯は恐れてゐるとの觀測が行はれてゐるが、一部には地中海警備に關するニヨン會議でのソ聯の橫領ぶりに鑑みやがては極東に於てもソ聯はこれと同樣の態度を取り兼ねまじとの觀測もある。

CASA TOZAN LTDA.
COMMISSARIOS
Phone: 2105 e 2106 - Endereço Teleg. "TOZAN"
Praca Maua, 25 - Caixa Postal, 911
SANTOS

珈琲コミッサリオ
カーザ東山
東山銀行部
伯貨定期預金
一ケ年六歩

サンパウロ事務所
ルア・フロレンシオ・デ・アブレウ七四一A
郵函五二八 サンパウロ
電話 二一一六八五番
二一二九八一番

リンス事務所
アベニーダ・ボルンタリオ
(ロザリーノ・シルバ)一四七
郵函 一一番
電話 一四七

Banco Especie de Yokohama, Ltd.
The Yokohama Specie Bank, Ltd
Rua da Candelaria No, 23
Caixa Postal, 380 - Rio de Janeiro

切り取つて手紙の表にはられたし

◆郷里送金
新令に基いて御申込に從ひ申請の上許可を得て御取扱ひ致します
法令によりまして唯今の處送金々額は一ケ月一人につき二コントス以內しか出來ません
送金は無手數料で御指圖通り御取計ひ致します

◆日本貨預金
當行內地各店の定期預金又は特別當座預金とせらるゝため御送金なさる場合は前項に準じて御取扱ひ致します
定期預金利息は現在年三分三厘の割合であります
當行各店發行圓貨其他の預金証書特別當座預金等は即日可成好い相場にて御買取伯貨にて御支拂ひ致します

◆伯貨預金
定期預金六ケ月以上利率當分年三分五厘の割であります
外に當座預金特別當座預金等御便宜御取扱ひ申上げます

横濱正金銀行
リオ・デ・ジャネイロ支店

時評

日獨伊の提携と赤露

△

東洋の皇道的和平を念とする帝國と、世界赤化の國是を東洋に試決せんとする赤露とが、氷炭相容れざる二強として早かれ晩かれ干戈のうちに相見えんは不可避の運命として覺悟せざるべからず、今や、日支事變をめぐりてソ聯の排日態勢はいよ〳〵露骨大膽なるものあり、現にベルギー首府に於て開催中の九國條約會議に對するソ聯の言動を見よ、支那には既に武器將兵を送りて宛然支那に於ける日露決戰の如き觀をすら呈しつゝあり。

△

眼を廻らせば則ち滿洲國境に不法なる越境を敢てし沿海洲に北樺太に我が權益を蹂躙せんとし、國際法を無視して帝國臣民へ暴戾を加ふ、隣忍程あり、自重度あり、我々は即戰即決、南京國民政府粉碎後、事實上に於ける第二の敵赤露膺懲の義軍を起すべきを强調す國民政府と雖もソ聯の惡質なる煽動なくしては、今次の如き不義不遜に陷らざるべく、赤魔の陰險なる協力なくしては、今次の如き不信暴慢を示さゞるべし、即ち當る、蔣介石政府赤赤露の操糸に躍る一傀儡に過ぎざるを

△

我國政府は宜しく拔本塞源、東洋永遠の和平確保のため東亞の天地より赤色ソヴエトの跳梁を驅逐すべし此の意味に於て日獨伊三國の防共協定更に日獨伊三國の防共協定には深甚の意があり、共産勢力の芟除せられたる東洋、アジアの黎明はこの時より皇道無邊燦たる光彩を放つべく世界の人類は救はるべし。

戰後の外交

△

現下の日支戰の解決はたゞ時日の問題なり、今更日支軍を對比するが如きは愚劣の極なり、今より我々が憂ふるところは過去に於て極めて拙劣なる我が外交が彼の千變萬化巧妙を極むる無恥無反省なる術策に乘ぜられ、戰後に窮することなきか？

△

世界に比なき我が陸海軍の精鋭の忠勇義烈と、銃後の嚴然たる守りをなす國民の一心一體たゞ敵勢壓滅の氣魄は無論最後の大捷を豫期し得ると雖も、又皇國の拂ふ犧牲少しとせず、血汐を流し骨を埋め傷き倒れて尚止まず、敵彈と戰ひ惡天候を冒し大險を越ゆる皇軍將士の苦勞は勿論我が國が有形無形に被る損失の莫大なるは言をまたず、支那の不信不義は今更贅言の要なく何れの点より見るも非は全部彼に在り、故に我國の犠牲の代償についても、今より確固たる信念の下に考慮を要す、徒らに人道主義的正義感の自己陶醉に墮し中外に施す諸種の宣言中に言句を謹み以て善處せむことを望んで已まない、時代の相違とは云へ魔樂アヘン賣り込拒絶に會ひ支那より漢口を强奪せる英國、宣教師一人の生命を青島の代償となさしめしドイツその西歐諸國が支那侵略の事實、それに反し遼東の野を一度は支那に返還し青島を彼に全部彼に在り、故に我國の犠牲の代償についても、今より確固たる信念の下に考慮を要す、徒らに人道主義的正義感の自己陶醉に墮し中外に施す諸種の宣言中に言句を謹み以て善處せむことを望んで已まない、時代の相違とは云へ魔樂アヘン賣り込拒絶に會ひ支那より漢口を强奪せる英國、宣教師一人の生命を青島の代償となさしめしドイツその西歐諸國が支那侵略の事實、それに反し遼東の野を一度は支那に返還し青島を彼に全部彼に在り、故に我國の犠牲の代償についても、今より確固たる信念の下に考慮を要す、徒らに人道主義的正義感の自己陶醉に墮し中外に施す諸種の宣言中に後日自縄自縛に落るが如き無しと雖も、余りに潔きに過ぎたるは遂に及ばざる今日の結果を招來する禍因を爲したるに非ざるか。

△

今や南京の沒落近づくと共に虚々實々の外交戰は鋭角的に鋒先きを露出し來る而して南京政府葬送の後に來るものは何か？ 赤露を相手に東亞の危機か、戰爭では我れは必ず勝つ、たゞ憂ふる所は皇軍の捷利を傷けざる戰後の外交工作、宜しく斷々乎たる强硬外交を以て「いくさには勝つた」前轍を踏むべからずと叫ぶ。

サンパウロ坂根新總領事を歡迎す

總領事だが……若し私らがだったら……どんな事をする？

元青島帝國總領事坂根準三氏は愈々サンパウロ總領事として着任した、祖國未曾有の國際情勢困難の場合、帝國在外官吏としては特にフンドシを締めてフン張つて貰はねばならぬ時代、飜つて在伯邦人社會を見るに病院問題第二世教育問題補助金問題第全伯日本人會問題等々これまた多事多端である、就中、全伯日會問題は前任者がナマジツカに手を着けたばかりに却つて紛糾の種子となつて居る、之れがどう解決するか今より豫測は出來ないが、兎に角、何事にも私情を去り一意御奉公の誠さへみんなに在つたならば、反目もなければ紛糾もない筈だ、特に公僕として國家に忠誠を誓つた役人達には此の点一層痛切なるを感ぜしめられる、勿論、新しき總領事は白紙をもつて着任したであらう、我々も亦新總領事に對しては全くの白紙である、この白紙である我々が若し坂根氏の如くサンパウロの總領事になつたら——我々ブラジル生活に於ける多年の苦心と經驗から果して何を望み何を計畫し何を實行して見たいであらうか？

新任總領事を歡迎するにあたり吾が社が斯の如き質問を各方面に發する蓋し所以無き徒事では無からう。

但し成るべく簡單に書く事

●此の質問に對し地方讀者の投稿を歡迎す、締切は本月三十日迄、

高岡專太郎

△

高『總領事になつてとはチトくすぐつたいな、然し自由の立場として意見を述べやう、先づ日會の事に付いて申しませう、世が進むにつれて『會』といふものもその姿が變らねばならぬ、特に他の會との外交的なるをも要する現にイタリヤ人、ドイツ人等の會は大いに對外的に活躍してゐるではありませんか』

記『感心ですな、處が日會は内証に終始してゐるやうですが』

高『私にいはせるなら、同胞には未だ團体訓練が缺けてゐる、中には會の精神を忘却してゐる者も多いやうだが、彼等は他に爲すことがないから、會を一種の玩弄物としても て遊んでゐる、つまり趣味の延長とでも申しませうか兎に角會に對する根本精神が間違つてゐるから圓滿に成果を納めるてなことは出來ない譯です』

記『聖市日會も根本から改め度いといふのですか』

高『私の感心出來ない事がもう一つある、日會といふものは一つの自治團体である、同胞各自の總意によつて總てなさねばならぬ、處が聖市日會は官吏も會には入つて然も會を牛耳つてゐるやうだがこれはよろしくない、これは會員全部に責任がある、第一選擧法を誤つて居る、何處の選擧だつてそうだがブラジル大統領選擧をするにしても、各州で候補者を立て、鎬ひに篩つて最后に殘つた者が當選するが、日會も一つのポリチカであるから嚴格にやるべきだ』

記『情實にとらはれたりして不正な選擧をする人が多いやうですな』

高『一個事がこんな事をいつてゐました「同胞は未だ子供であるから手を引いて導いてやらねばならぬ」と。然しそれは認識不足だ、二十万同胞中には團体訓練の出來た人が澤山ゐるが「無理が通れば道理が引込む」で官吏など出しやばるからそんな人等が出ないだけだ一例を上げればパストスの脇山大佐のやつて居られる團体の訓練の如き誠に立派なものである』

記『隱れた人物といふのは在伯同胞間にも大分あるやうですが、そういふ人物に起つてもらふやうにしなければいけませんですな』

高『私の鄕里に八十になるお婆さんが居てその娘が六十になります、二人でお宮參りによく行きますが八十になる方は歩き方も危なげにして居ますがそれで、六十の娘に「氣を付けないと危いよ」と心配するので、鄕里での語り草になつてゐるが、領事の考へもこの八十婆さんと同じだ、他人を批評する前に先づ自分を省るべきだ「俺がやらねば會などうまく納らない」といふが、私に言はせると同胞間には教育に於て社會上の智識に於て領事より秀れた人がゐると思ふ、例へば若し市毛總領事を店員にでもして見んか一日も務まるまい、それであまり威張るもんぢやない』

記『教育問題に付いて何か一つ……』

高『私は教育によらず補助金全廢運動をやり度いと思つてゐる、會といふ會は補助金目當の形だ、教育でもそうだ、自分の子供を教育するのに人の金を貰はねば出來ないのか實際情ない、同胞の紛糾する處必ず補助金問題がある百害あつて一利なきこの補助金、それも有余つた金ならいざ知らず、此の間も私の處に日本の農民の悲慘な生活の有樣を書いた本が來ましたが二度の食事も一度にし通學兒童など殆んど食事が出來ない、そういふ國民の膏血を絞つた補助金を廻つての喧嘩、日本人ならもつと考へなければならぬ、同胞は補助金病に罹つてゐるのだ早くこの病氣は療さねばならぬ』

記『怖しい病氣ですね』

高『赤松總領事の時この補助金の話があつたが、私は當時から大反對をして來たのです、此の間もドアルチーナの人が來て、「先生は補助金がどれ程無駄に使はれてゐるか知つてゐますか、建築補助金を受けた學校がどれだけ空家になつてゐるか判りませんー」と、私が歸國に來らんとする新時代に順應する大乘的大陸政策の樹立と之れに順應した對伯移民政策の更生期に處する方策を今から考へて置き度いと思ふ

△

次に從來在伯同胞に對し附して來たあらゆる政府の補助金を全廢したい、何故ならばこんなものは結局百害あつて一利なきものであるからだ、又同胞間の各種徒黨的團体は全部解散せしめるやうな方針をとりたい何故ならばほんとうに甘萬出るところのブラジルに關する一切の費用又はそれの費消用途を詳細に發表するね、例の日本病院が立ち朽されにならうと變で非常時にある日本へどん〳〵送つてやらねばならぬ時だ』

記『伯國に於ける日本語教育に付いては……』

高『これは隨分難しい事だ日本語を四五年まで修めても其の後蒸發してしまふこれでは無意味だ』

記『と申しますと、中等までもやらねばといふのですか』

高『小學中等……大學までもやらねばならぬが、同胞全体がもつとしつかりせねば駄目だ普及會のやり口では駄目だ伯國側にも疑視されるであらう』

豐吉眞水路

△

若し私が總領事になつたとしたら第一番に教育問題を根本から改めたい思ふ、今日の所謂伯主日從主義なんて迎合追隨主義微温的妥協を排し、大に日本教育の徹底に向つて邁進したいと思ふ、現在の樣な狀態で在伯同胞が進んで行つたならば我々の子孫はどんなになり下るであらうか、想像するだに戰慄を禁じ得ない

△

世人口を開けば日伯親善ブラジルへの貢獻と云ふがそれには先づ我々の第二世をして眞に辱かしからぬ立派な日本人に仕立上げてこそ伯國々運發展の爲めにも寄與し得るものと信ずるそれから是れは一總領事位の分際では一寸手も足も出ない大きな問題かも知れないが、我國將來の對伯外交及び移民政策は現下日支事變の結果に依つて示されるであらうところの新しき國策に從つて一大變革を加ふべきだと思ふ、世相は變轉極まりなし、何時までも過去の小乘的海外政策に膠着するやうでは到底將來の大は期し得られない、即ち將に來らんとする新時代に順應する大乘的大陸政策の樹立と之れに順應した對伯移民政策の更生期に處する方策を今から考へて置き度いと思ふ

△

墨『私は總領事の妻としての意見を述べて見ませう今までにサンパウロへお出になつた外交官の奥さんは殆んど何一つ爲してゐません、少なくとも外交官の夫を持つ以上主人を援けてより良く夫にその務を果させるといふのが妻としての務めではありますまいか、そして又夫人は夫人として外交があると思ひます、それには婦人會を組織して有効に運用するのが第一でせう最も今までも婦人會がなかつたのではない、水曜會といふのがあるが、私の申しますのはそんなお菓子を食べたりお茶を飲む會ではありません、會員各自の手腕を發揮して裁縫の出來る人は裁縫生花の得手な人は生花といふやうにしてそれが會の基本金を作り、外國人を招いて夜會でも開きその席上で日本の名勝や其の他の寫眞を見せたり、又話したり日本人の美点長所をハツキリと彼等に認識させるやうにしなければ駄目です、たゞ遊び廻るだけの會なら寧ろ無い方がましです』

記『外交の重大事は殆んど女の手によつて操られたといふ事を良く聞きますね』

黑『男の見るのは堂々と表からですが、女は裏から眺め内部を良く見る事が出來ます、何事でも表裏ありません、此の点外交官の妻は大いに活躍しなければならないと思ひます』

記『そうしますと、外人を妻に持つてゐる場合その妻が果して日本の爲めそれ程盡すかどうか疑問でせう』

黑『勿論日本婦人でないとそんな事は期待出來ません、外務省でもそれに氣付いて、外人を妻に持つた外交官は段々整理していつてゐるやうです』

記『あなたのやうな人に總領事の奥さんになつてもらふと、我々同胞は大乘の安堵が出來て幸福なんでせうがね』

黑『話は教育に移ります、私には子供がないから論する資格はないかも知れませんが、私らは常に考へさせられます、他家を訪問致しますとその家のお子さまが日本語を話す程度によつて、大てい主婦の常識なり心掛を知ることが出來ます、母と子は一体でありますから母の心は直に子に移るものです日本の美点日本人の長所はどこまでも、我々日本婦人によつて護つて行き度いものです、我が子を性慾の延長として取扱ふべきではない、少なくとも自分以上の者に育てる事に務めなくてはなりません、在伯同胞にあつては先づ母から教育しなければ駄目です、話が横道にそれたやうですが』

記『いや結構です、そういふ事は確にいへます』

墨『着任すれば早々どの總領事でも、奥地視察をやりますが、眞心を以てするなら、本富の同胞の苦しみを見聞して歎き度い汽車ですつと通つて町の一等ホテル等に泊らず、茅屋に寢て親しくその生活を見て欲しい、今までは同胞も惡かつた總領事が來るといへば仕事を休んで出迎へ、粗を見せまいとして種々考慮した、それでは觀察した事にもならず、觀察してもらつたとも言へない筈です、今後は總領事が來るからといつて特に飾つて出迎へる必要はない、觀察したければ總領事で戸別に訪問するだけです』

女史の得意な意見は滔々として盡きぬやうだつたが茲で打切つて出た

牧義朝

僕が總領事になつたら『大臣になつたら日本の政治をこうしたいと思つて居る事は切々多々あり又實際同胞生で大臣になつて居るので今更總領事になり下り度くはないが、假りに總領事になつたら誠心坦懷に、素直に、飽く迄正直に、在伯同胞に當り度い、一体日本ではサンパウロといふ處はウルサイ處と宣傳されて居るらしいが然しこのサンパウロにどこにそんな事實があるか誠に御易い處でほん富に惡黨らしい惡黨は居らぬ。』

『僕は永年サンパウロに居り有志の心理をよく知つて居るつもりであるが大した度し難い惡い奴は居らぬ例へば新聞社の連中にしたつて夫々特長はあるが何れも まあ好人物の方だ若い奴の方は時々アンタルチカを飲ませばよし。安いもんだ』

『高岡にしてもよく反對して盾つくが面白い人物で如何にも植民地らしい人間である。次に岸本次男中西周甫等々何れも善人でこんなのをむつかしい人物といふ樣なら總領事の資格はない その他は押して知るべし』

『それで第一にサンパウロがウルサイ處であるといふ觀念を先づ一掃してよろしい。そして凡ての人に對して素直に正直にありのまゝを話し所謂カケヰを一切やらぬこと。在留民は總領事に出來ることと出來ぬこと位は千万承知して居るから。』

『前任市毛は他にとり柄はないが彼は終始一貫正直であつた。大臣でもそう思ふ通りにはゆかぬのであるから況んや總領事で出來ぬことは多々あるから又相手方はそれをよく承知して居るから在留民に對して出來ぬ事は出來ぬとはつきり正直に云ふがよろしいそれで皆滿足するから。』

『以上は總領事としての根本的問題であるが更に細目の点では從來次の二点が缺除して居ると思ふ即ち第一は在留民に對する精神的指導機關がないことで第二は停機關によりて決定することである。』

『第一の精神的指導機關とは總領事館に勸業部があつて農業の指導機關は出來て居るが在留民をして海外移植民としての修養及び向上については總領事館は一切關れて居らぬ。換言すれば米やミーリヨの種子を植付けることについても勸業部により力を入れられて居るが然し人間の種子をこのブラジルの天地にしつかと植付ける指導と機關がないがこれは龍を畫いて眼を入れぬ仕事であるから、この点は海外に居る丈けに內地に居るよりか一層必要であるこの機關を中央に組織して四五人の人を各地に派遣し指導する事で例へば岡田英定老人が個人の資格でやつて居られるがこれらの如きを總領事館の囑託として推すべきである。即ちこの精神的指導機關は或はシチアンテ又はフアゼンデイロになるよりか更に先決問題であつたの。之等は果して其原因何れにありや愼重に考慮すべき事柄であると思ふ然し我等の意を强うして可なる事には令へ御膝下の聖

（第三面下へつゞく）

黑木ミヨ子

黑『私は總領事の妻としての意見を述べて見ませう今までにサンパウロへお出になつた外交官の奥さんは殆んど何一つ爲してゐません、少なくとも外交官の夫を持つ以上主人を援けてより良く夫にその務を果させるといふのが妻としての務めではありますまいか、そして又夫人は夫人として外交があると思ひます、それには婦人會を組織して有効に運用するのが第一でせう最も今までも婦人會がなかつたのではない、水曜會といふのがあるが、私の申しますのはそんなお菓子を食べたりお茶を飲む會ではありません、會員各自の手腕を發揮して裁縫の出來る人は裁縫生花の得手な人は生花といふやうにしてそれが會の基本金を作り、外國人を招いて夜會でも開きその席上で日本の名勝や其の他の寫眞を見せたり、又話したり日本人の美点長所をハツキリと彼等に認識させるやうにしなければ駄目です、たゞ遊び廻るだけの會なら寧ろ無い方がましです』

記『外交の重大事は殆んど女の手によつて操られたといふ事を良く聞きますね』

黑『男の見るのは堂々と表からですが、女は裏から眺め內部を良く見る事が出來ます、何事でも表裏ありません、此の点外交官の妻は大いに活躍しなければならないと思ひます』

記『そうしますと、外人を妻に持つてゐる場合その妻が果して日本の爲めそれ程盡すかどうか疑問でせう』

黑『勿論日本婦人でないとそんな事は期待出來ません、外務省でもそれに氣付いて、外人を妻に持つた外交官は段々整理していつてゐるやうです』

記『あなたのやうな人に總領事の奥さんになつてもらふと、我々同胞は大乘の安堵が出來て幸福なんでせうがね』

記『話は教育に移ります、私には子供がないから論する資格はないかも知れませんが、私らは常に考へさせられます、他家を訪問致しますとその家のお子さまが日本語を話す程度によつて、大てい主婦の常識なり心掛を知ることが出來ます、母と子は一体でありますから母の心は直に子に移るものです日本の美点日本人の長所はどこまでも、我々日本婦人によつて護つて行き度いものです、我が子を性慾の延長として取扱ふべきではない、少なくとも自分以上の者に育てる事に務めなくてはなりません、在伯同胞にあつては先づ母から教育しなければ駄目です、話が横道にそれたやうですが』

記『いや結構です、そういふ事は確にいへます』

墨『着任すれば早々どの總領事でも、奥地視察をやりますが、眞心を以てするなら、本富の同胞の苦しみを見聞して歎き度い汽車ですつと通つて町の一等ホテル等に泊らず、茅屋に寢て親しくその生活を見て欲しい、今までは同胞も惡かつた總領事が來るといへば仕事を休んで出迎へ、粗を見せまいとして種々考慮した、それでは觀察した事にもならず、觀察してもらつたとも言へない筈です、今後は總領事が來るからといつて特に飾つて出迎へる必要はない、觀察したければ總領事で戸別に訪問するだけです』

記『此の間伯字新聞に普及會と地方學校との關係を詳細に載せてありましたがあれに對しては、どうお考へになつてゐますか』

石『あんなのは仕方がないね、日本人教師が提供したともいはれてゐるが』

記『それは重大問題でもありませんか、平常冗談に談話してゐる間にそんな事を漏すものがあるぢやありませんか』

石『今の處どうにもならないね、今も話したのだが伯國の官憲で疑視してゐるやうだが我々としては當國の法律に依つてやつてゐるのだからして差支へない筈だ、我々の方では何時までも官制でこの事業をやるといふ考へはない、何時でも民間の方に投げ出してもよいと思つてゐる、然し輕々しくも渡されないが、追々そうなる事を希望する、そうなつた時本富に活躍が出來るでせう』

記『そうなる事が本富ですね』

石『よく新聞に普及會のやり方を書くこの間も日伯で苦言を載せてゐたが、論調がどうもわからぬ、どの新聞でもお互ひに助け合つてあまり惡い事ばかり書かぬやうにしてもらひ度いね』

記『然し大局から見て斷然頭を押へねばならぬ者に遠慮は入らぬ筈です』

石『それはそうだが、これからも、ちよい〳〵來て我々のやるのを見て下さい』

記『ではお忙しい處有難うございました』

山西干男

私のやうに毎日忙しく暮らして飛び廻つて居るものに別に是れと云ふ意見は有りませんが若し私がコンスルに成つたとしたら、是れまで色々の名目で出して來た母國政府の補助金——斯ういふものは在留民のためには毒にこそなれ決して藥にはならない物は與へないやうにしたいと思ひます、そりや補助金を下附するに當つては何かの理由があるでせう、出す方にも貰ふ方にも立派な理由があるでせうが、今日まで我々が見聞したその結果から考へると母國政府の補助金——斯ういふものは在留民のためには毒にこそなれ決して藥にはならない物は與へないやうにしたいと思ひます、そりや補助金を下附するに當つては何かの理由があるでせう、出す方にも貰ふ方にも立派な理由があるでせうが、今日まで我々が見聞したその結果から考へると母國政府の補助金——斯ういふものは在留民のためには毒にこそなれ決して藥にはならない物は與へないやうにしたいと思ひます、そりや補助金を下附するに當つては何かの理由があるでせう、出す方にも貰ふ方にも立派な理由があるでせうが、今日まで我々が見聞したその結果から考へると母國政府の補助金——斯ういふものは在留民のためには毒にこそなれ決して藥にはならない物は與へないやうにしたいと思ひます、そりや補助金を下附するに當つては何かの理由があるでせう、出す方にも貰ふ方にも立派な理由があるでせうが、今日まで我々が見聞したその結果から考へると母國政府の補助金——斯ういふものは在留民のためには毒にこそなれ決して藥にはならない物は與へないやうにしたいと思ひます、そりや補助金を下附するに當つては何かの理由があるでせう、出す方にも貰ふ方にも立派な理由があるでせうが、今日まで我々が見聞したその結果から考へると母國政府の補助金——斯ういふものは在留民のためには毒にこそなれ決して藥にはならない物は與へないやうにしたいと思ひます、そりや補助金を下附するに當つては何かの理由があるでせう、出す方にも貰ふ方にも立派な理由があるでせうが、今日まで我々が見聞したその結果から考へると母國政府の補助金——斯ういふものは在留民のためには毒にこそなれ決して藥にはならない物は與へないやうにしたいと思ひます、そりや補助金を下附するに當つては何かの理由があるでせう、出す方にも貰ふ方にも立派な理由があるでせうが、今日まで我々が見聞したその結果から考へると母國政府の補助金——斯ういふものは在留民のためには毒にこそなれ決して藥にはならない物は與へないやうにしたいと思ひます、そりや補助金を下附するに當つては何かの理由があるでせう、出す方にも貰ふ方にも立派な理由があるでせうが、今日まで我々が見聞したその結果から考へると母國政府の補助金——斯ういふものは在留民のためには毒にこそなれ決して藥にはならない物は與へないやうにしたいと思ひます、そりや補助金を下附するに當つては何かの理由があるでせう、出す方にも貰ふ方にも立派な理由があるでせうが、今日まで我々が見聞したその結果から考へると母國政府の補助金——斯ういふものは在留民のためには毒にこそなれ決して藥にはならない物は與へないやうにしたいと思ひます、そりや補助金を下附するに當つては何かの理由があるでせう、出す方にも貰ふ方にも立派な理由があるでせうが、今日まで我々が見聞したその結果から考へると母國政府の補助金——斯ういふものは在留民のためには毒にこそなれ決して藥にはならない物は與へないやうにしたいと思ひます、そりや補助金を下附するに當つては何かの理由があるでせう、出す方にも貰ふ方にも立派な理由があるでせうが、今日まで我々が見聞したその結果から考へると母國政府の補助金——斯ういふものは在留民のためには毒にこそなれ決して藥にはならない物は與へないやうにしたいと思ひます、そりや補助金を下附するに當つては何かの理由があるでせう、出す方にも貰ふ方にも立派な理由があるでせうが、今日まで我々が見聞したその結果から考へると母國政府の補助金——斯ういふものは在留民のためには毒にこそなれ決して藥にはならない物は與へないやうにしたいと思ひます、そりや補助金を下附するに當つては何かの理由があるでせう、出す方にも貰ふ方にも立派な理由があるでせうが、今日まで我々が見聞したその結果から考へると母國政府の補助金——斯ういふものは在留民のためには毒にこそなれ決して藥にはならない物は與へないやうにしたいと思ひます、そりや補助金を下附するに當つては何かの理由があるでせう、出す方にも貰ふ方にも立派な理由があるでせうが、今日まで我々が見聞したその結果から考へると母國政府の補助金——斯ういふものは在留民のためには毒にこそなれ決して藥にはならない物は與へないやうにしたいと思ひます、そりや補助金を下附するに當つては何かの理由があるでせう、出す方にも貰ふ方にも立派な理由があるでせうが、今日まで我々が見聞したその結果から考へると母國政府の補助金——斯ういふものは在留民のためには毒にこそなれ決して藥にはならない物は與へないやうにしたいと思ひます、そりや補助金を下附するに當つては何かの理由があるでせう、出す方にも貰ふ方にも立派な理由があるでせうが、今日まで我々が見聞したその結果から考へると母國政府の補助金——斯ういふものは在留民のためには毒にこそなれ決して藥にはならない物は與へないやうにしたいと思ひます、そりや補助金を下附するに當つては何かの理由があるでせう、出す方にも貰ふ方にも立派な理由があるでせうが、今日まで我々が見聞したその結果から考へると母國政府の補助金——斯ういふものは在留民のためには毒にこそなれ決して藥にはならない物は與へないやうにしたいと思ひます、そりや補助金を下附するに當つては何かの理由があるでせう、出す方にも貰ふ方にも立派な理由があるでせうが、今日まで我々が見聞したその結果から考へると母國政府の補助金——斯ういふものは在留民のためには毒にこそなれ決して藥にはならない物は與へないやうにしたいと思ひます、そりや補助金を下附するに當つては何かの理由があるでせう、出す方にも貰ふ方にも立派な理由があるでせうが、今日まで我々が見聞した

CAMBIO
CASA COELHO
Fundada em 1900

——兩替——

日本金、ドル及びリブラを他店よりも必ず御利益になるやう兩替します
一度お試し下さい
サントス市、ブラサ、レブブリカ四五（マルチン、アホンソ八〇番の角）電話二五〇二番
カーザコエリヨ

五十三歳の老貴族が 敢然蹶起出陣

帝國華冑界の名譽

愛國に階級なし

歐洲大戰に際し、英國貴族が祖國のために敢然第一線に銃をとり、戰塵にまみれながら不滅の武勳を樹てたことは當時世界の稱讃を集めたが、日東帝國華冑界の名譽を双肩に擔ひ、五十三歳の老躯を提げて毅然暴支膺懲の征途に立つた名門の老勇士がゐる……

淀橋區柏木町四の八九六岳陽少年聯合團々長伯爵松平直富氏（五三）は通例ならば退役○○○○で應召出來ぬのであるが一朝有事の際は御國のお役に立ちたいとの武願から、二回にわたりかねてから

後備役延期志願をしてゐたのでこのほど應召、時こそ至れりと勇躍出發した、松平伯の家柄は家康の嫡孫松平直基公を藩祖として代々平和に慈まれて來ただけに、特筆するほどの武勳もなかつたが、東亞にうづまく戰雲にこの老貴族は敢然蹶起、彈雨をついて颯爽駒を進めるに至つたのである、藩祖三百年來の歴史に輝かしい一ページがいろどられたと知つたとき誰よりも喜んだのは伯爵家の家扶中山十松翁である翁は少年時代から同家に仕へ、基則伯、直之伯、直富伯の主家三代に忠勤をはげんで來た篤實な老人で

殉　國の熱血に燃えた伯がたゞ子夫人と一人息子の直正君（一九）の二人も家に殘していまこそ靈くさん藩屏の任！の決意もかたく勇奮前線に向ふ威風を仰いで感極まり過般自邸で開いた壯行會の席上三代五十年間御富家に仕へたこの爺には今夕ほどうれしいことはありません五十路を過ぎたお體で進んで御出陣の覺悟はたゞ感激のほかありません、何とぞ上州高崎の舊藩士の武門と名門の面目にかけても一鞭敵陣を陷れて華々しき凱旋をお祈りしてをります、お坊ちまや奥様はこの爺が御無事にお守り致しますからお心置きなく御出發下さいと德大寺公弘公、小笠原長生子等近親、知己數十名の前で日頃のとつ様に似ず

聲　涙下る訣別の辭をたう〳〵と述べ

祖宴河演説別懇、雄心既壓北支州、腰間笑撫傳家劍、博得功名是此秋

と自作の漢詩を朗々と讀み上げて舊藩主の武運長久を祈つたである、直富伯はいま松平部隊長の名も勇ましくこの老僕眞心の餞と、富士の裾野で饗食を共に調練した岳陽少年團員達の千人針をしつかと腹にしめ、さつ爽第一陣にかつ〳〵の軍靴を高鳴らしてゐることであらう

敗戰に狂氣したか

敵のスパイ狩五ケ條

後方には恐しい監視銃殺隊

【上海發】國民政府は戰場に於ける將兵の卑怯な行動を嚴禁するため戰線の後方には禁を破つて逃亡する味方の兵を擊殺する監視隊を常に派遣して居るが既に第五十三師の大隊長である少佐一名は戰場で卑怯な行動に及んだとて山西省の現場で銃殺、他の少佐は逃亡せんとして上官より擊殺され、前天津市長張氏も嚴罰に處せられ、チヤハルの第百四十師團長は罷免、一大佐は減位の上戰場に送られた

敗　戰に氣が狂つたか蔣介石がまたスパイ狩り『漢奸懲治條令』五ケ條を新らたに制定公布した、そして漢奸の實在の証明として『漢奸は秘密結社として一つのマークをつけて居る』と云ひ出した、そのマークの一つは左右どちらかの腕に三角の中へ丸を書いた刺青をして居る他は財袋の中に一錢銅貨を入れて居ると云ふのだ、まさか私は漢奸でございますと云つて一生消えない刺青をする馬鹿もないだらう、財袋の中の一錢銅貨に至つては其の構想の妙、さすがに支那人である、だが笑ひ事ではない、この狂乱の漢奸狩りによつて至る所に

悲　劇以上の悲劇が演ぜられて居る、まづさきに睨まれたのは、日本に留學したことのある支那人、官吏、それに日本婦人を妻にした支那人だ、すでに日本士官學校出身者の現役將校數十名はイの一番に銃殺されたと云はれて居る、だから反日分子の疑ひから逃れるためには人一倍矯激な抗日論者であることを誇大宣傳する以外にはない、こゝ、青をして居る他は財袋の中に笑へぬ喜劇役者『矯激抗日論者』が生れた、上海でもこれ等の學生約八百名何れも留日同學救亡會を組織して戰線に立ち漢奸の疑ひから逃れて居た、これ以上悲慘なのは日本婦人を妻として居る支那人だ

闇　の目を恐れて早くも離縁した支那人の家庭悲劇は隨所にある、刻々迫るCC團の拳銃を逃れて佛租界にちぢこまつて居る日本婦人はかなり多い、なぜ蔣介石はこうまで狂つたか、それは行政院秘書黄慮父子を中心に南京政府の重大機密行政院議事錄スパイ事件があつた、蔣介石の長江封鎖事件が長江封鎖を行つた時は、既に長江沿岸の日本船は一齊に引揚げた後であつた、誰かが長江封鎖の計畫を洩らしたに違ひないと蔣は捜索の嚴命を下した そして南京最大の旅館を家宅捜索した結果は黄慮の筆跡である『即日封江』の紙片が出て來た、蔣は云ふ、

黄　慮は息子を通じ十七名の漢奸と連絡をとつて

砲彈雨飛の中にも 禮儀を守る我海軍

米國軍艦將校が深く感銘

ハワイ日布時事の報道によると上海陸戰隊から轉勤を命ぜられて最近歸布した米國中尉ウエイド、ターネジ兩氏はホノルルで左の如き興味ある談話を行つたと、これは兩中尉が油槽船ランバオ號で上海を出港する時の話——

我々は砲彈に打たれた米旗艦オーガスタ號の近くを通過した、そしてその程近くの下流に差しかゝつた時ランバオ號の船首右舷の百五十呎余前方に支那艦が爆彈を落した、そのためランバオ號は大震動を蒙つたが損害はなかつた、それから日本巡洋艦出雲の近くを通つたが、その時出雲艦上で嚴粛なる敬禮ラッパが鳴り渡り戰鬪中の砲火を中止して敬意を表した。そこでランバオ號でも直に答禮をなした。それが終ると出雲は再び戰鬪の砲門を開いた、なほ兩中尉は斯る戰鬪の最中に於ても非戰鬪艦船に對する儀禮を怠らない日本軍艦の慇々たる余裕と立派なる態度に多大の感銘と敬意を言外に表明した。

進め、ひとし

歡送の即興歌

驛頭に突然高く老婆の聲援 凛たり軍國の母子

去る○○日午前六時十二分廣島縣の福壇北線甲奴驛を下り九○一列車が出發の直前プラットホームをいつぱいに埋めつくした見送り人の中から突然高く朗かな聲が響はじめた

御國のために出るからは生きて歸ろと思ふなよ
進め、進め

ノウひとし
留守の家庭は圓滿に何も心配するおやない
進め、進め

ノウひとし
進め、進め

ノウひとし

歌つてゐるのは一人の老婆だつた如何にも感激にたへぬ切れぬように耳傾けてゐるのは軍服姿も勇ましい一人の青年だ、いやその二人をとり圍む百數十名の見送り人たちもだ、みんなの眼から溢れ出てゐた涙は感激の最高潮に達し一樣に嗚咽にかはつて行つた、この老婆と勇士は甲奴郡甲奴村大字本郷、上神良右衛門氏妻おさん（五一）と長男一君（二五）でその日早朝村民はこぞつて晴れの重大任務を帶て出發する一君を同驛へ送り盛んな歡送式を行つたが最後に本人の答辭が終るや母堂おく刀自は乘車せんとするわが子を呼び止めこの健氣の激勵の言葉を歌にして一君が車窓に妻を現すや再び呼びかけ『ひとし今のことを忘れちやならんぞ』と念を押すと一君は素氣がして幾度も止めようく〳〵と思ひましたが何ものかに引きつけられるようで行かずには居られないのです。母にすゝめられ、ばお間に立つてどんなに困惑することでせう子供等の幸福を標準に考へますと私はどうしてよいかわからなくなつて來ます。どうぞ進むべき道をお教へ下さい

（市内丁子）

姑に遡からはず愛を以て仕へ心で信仰なさい

【答】姑が師依される佛教をけなさず余りさからはず進んで貰女の信ずるところを進まれたらよいと思ひます、或人はキリスト教を理解せず、單に外國の宗教だと問違へて嫌ふ者もあります。此の場合には徒らに理論を說かず、實行を以て接しられることを教今育を授けることは誠に大切なことであります。教會に出席されることが困難である場合は、聖書を讀み他の讀書などに依つて信仰を養ふ方法を取られたらよいと思ひます。祈禱もまた缺いてはならぬものであります。祈りと愛の實行のもとに新しく途がひらかれることを信じて下さい。心配せずに信仰心を固くもつて母上の心を靜かに慰安して下さい。

悩める女性へ

母が反對する基督教を信じては悪いでせうか

【問】私の家は主人とその母と子供五人ですが、母はお寺出の人です。私は四年前に不圓キリスト教のお話をうかゞつたのがもとで日曜毎に家にかくれては教會に通つて居ります。主人は初め怒りましたが、このごろ行かずに居られないのです。母にすゝめられ、ばお經も讀みますが子供を日曜學校へやるようになつてから、母はたえずイヤなことばかりいつて子供をおどしつけます、教會へ行くと地獄におちるといふのです。いつそ止めさせようかと思ひますが、母の意にそはぬ子供を教會にやることは惡いことでせうか？　教會でキリストは正しい人と教へれば、母はその反對だと申しますので、子供は双方の間に立つてどんなに困惑することでせう子供等の幸福を標準に考へますと私はどうしてよいかわからなくなつて來ます。どうぞ進むべき道をお教へ下さい

（市内丁子）

物凄い血書の山

流石武の國土佐健兒の意氣 稲川司令官も激感

暴虐支那をやつつけに支那へやつて下さいといふ就軍志願書や私か抽籤外現役兵に採用下さいとか在支部隊にやつて下さいといふ甲種合格兵の籤外志願が事變以來激增、此頃は毎日二、三十通も高知驛隊區に舞込み司令官の机上に積上げられ『さすが武の國土佐だ、こんな熱情はちよつと他所では見られぬ』と稲川大佐を感激さしてゐる。司令部の調べによると

就　軍志願書がすでに六百通、抽籤外現役志願書が例年の二倍の四百六十通、在滿支部隊志願書がこれまた二倍の三百七十通に達した、このうち殆ど一割近くは血繍物凄い血書、血判もので中にはまるで小學生の手習ひ草紙みたいに大判紙に認めたもの、便箋五枚にわたつて血書したものもある

かゝる傾向は三年の昔、國運を賭して戰つた日露戰爭當時も比較にならず頼母しい銃後ぶりである。血書の願ひを前に稲川司令官は語る

大　敵といへども恐れず小敵といへども侮らざるは兵法の根幹である、今回の事變はふやきのふに原因して起つたのでなく、廿年におよぶ侮日排日教育にあるのだ、四億の支那民衆の半この教育を受けたものであることを考へ臥薪嘗膽の決意をして銃後を固めて貰ひたい。（高知發）

小賣と製造業より 事變特別稅法

【東京發】法律第六十六號日支事變特別稅法中、物品特別稅の稅率は價格百分の二十とす

前項の價格は第一種の物品に就ては小賣業者の販賣價格第二種の物品に就ては製造場より移出する時の價格とす但し保稅地域より引取らる、物品については小賣業者より第二種品に就ては製造者より之を徴收する場合を除くの外引取人より之を徴收する。

第二十五條、左に掲ぐる物品については命令の定むる所により物品特別稅を免除す。

（一）輸出するもの（二）第一種又は第二種の物品製造用に供するもの（三）その他命令を以て定むる用途に供するもの（以下略）

（第二面下よりつゞく）

市が斯くの如くであつても一般在留同胞はビクともしない程に其基礎が固つて來て居る事である。或種の野心家が中央日本人會の成立を攪乱せんとしたが美事失敗した事實に依ても在留民一般が如何に健實味を增し加へて來て居るかが立証されて居ると思ふ。之れ一に過去卅年間の粒々辛苦の賜物であつて自らの顔に汗し自らの筋骨を勞して自立自營、自分の事は自分で爲すと云ふ獨立自治の精神が然らしめて居るのである。

對政府關係に於て如何なる高等政策が行はれやうとも一般同胞そのまゝ此根本方針に立たざる限り我等の南米發展は百年河清を待つに等しいであらう。出先官憲の在留民に對する態度も此自治的方針と益々強化する事に努力し決して之を破壞するやうな事はあつてならないと思ふ。

△

先般同胞間を騒がしたる書及會密告事件なども抑々の根源を探れば當局者が同胞間の自治的精神を破壞せんとした處に其端を發して居るのである。即ち今年二月二日書及會本部より各部會に宛た『部會規約一部改正慰問袋に就て』なる天降り的な一通達に依て部會總會の決議を無視し自治團体であるべき部會を根底より破壞するの態度を示されたので我々サンパウロ部會の役員は之を遺憾とし出來る限り穏便に再三再四當局者との懇談を要請し部會は何處迄も自治團体として其成長發達を希望したのであるが遂に其容る、處にならず、却て當時サンパウロ部會長たりし我等を惡むことダカツの如だとは云へ、お互日本人として然も廿萬同胞に師風を垂るべき一流の紳士團として、少しは時と場合を考へたらどうぢや、汗水を流して國防だ慰問だと言つて一生懸命になつて居る世間の手前にも……

△

『我等のテナー』藤原が來たと云ふので聖市邦人社會就中邦字新聞と婦人の水曜會連中のノボセ方と云つたらない、中には五十六十の梅干ババまでが色男義江の顔を三拜九拜しやうとサツコデフアリーニヤの中に顔を突き込むやら赤いチンタを塗るやら大騒ぎだ中には逆上して帝國總領事官邸を日本クラブとお間違ひをして是處で義江の歡迎會をやらせて呉れろと新米總領事をビツクリさせた女連もある、旅藝人も斯くなつては一代の光榮と感謝して可なりであらうが、是等も『ブル藝』のゴルフ連と同じく時と場合をチト考へろだ、併し古歌にも言ふ通り『何人も無くてはならぬ七くせぞ、吾れにも許せ歌島の道』であるから吾等はゴルフをやつたり天下の色男に同憧れして騒ぐことを惡いと云ふやうなヤボは申さぬ、唯時と場合を考へてやつて呉れろと云ふだけだ

教育普及會が 教師優遇

普及會では硬骨石井氏を迎へてから着々斯界の刷新に邁進し、今や舊來の面目を一新せんとして居るが特に教員の待遇改善を急務と爲し先頃より調査研究中の處此程漸く成案一般學校經營者と協力して實行する由であるが右は教員資格、俸給區分、初任給標準、年功加俸、退職並に死亡手當の支給法等である

◇……◇ 如是我聞 ◇……◇

△

日支事變の擴大化、果して之れがいつ終るか今の處一寸見當がつかない、從つて出征軍人に對する國民銃後の應援と慰問は決して花火線香式であつてはならぬ、終始一貫國民の熱意を示すべきだとの趣意から古谷重綱宮坂國人官腰千葉太の諸氏其他七氏が發起人となり月掛獻金慰問團を組織したるは、洵に時宜に適した企圖さすがに良い處に氣がついて呉れた、吾等は衷心その勞を謝し成功を祈る

△

ペンナポリス驛日會から珈琲入慰問袋三千個を送る、慰問袋にとて別に無理をしてなくとも心に誠さへあらば何んでも手近な物から出される、その好例を模範としてペンナポリスが示したムイトベン〳〵

△

サンベルナードにゴルフリンクが幾十コントスで出來たそうだ、どうせ金が邪魔になつて捨て所に困つての上だらうが又それがたとひ祖國を遠く萬里の異域の事だとは云へ、お互日本人として然も廿萬同胞に師風を垂るべき一流の紳士團として、少しは時と場合を考へたらどうぢや、汗水を流して國防だ慰問だと言つて一生懸命になつて居る世間の手前にも……

△

『我等のテナー』藤原が來たと云ふので聖市邦人社會就中邦字新聞と婦人の水曜會連中のノボセ方と云つたらない、中には五十六十の梅干ババまでが色男義江の顔を三拜九拜しやうとサツコデフアリーニヤの中に顔を突き込むやら赤いチンタを塗るやら大騒ぎだ中には逆上して帝國總領事官邸を日本クラブとお間違ひをして是處で義江の歡迎會をやらせて呉れろと新米總領事をビツクリさせた女連もある、旅藝人も斯くなつては一代の光榮と感謝して可なりであらうが、是等も『ブル藝』のゴルフ連と同じく時と場合をチト考へろだ、併し古歌にも言ふ通り『何人も無くてはならぬ七くせぞ、吾れにも許せ歌島の道』であるから吾等は

アラサツーバ市
白石食堂
（武部商店のまん向ひ）

蓄音機？
日本工業界の粹
マグナホニツク
◇新荷着致しました
賣切れぬ内に御註文を
御待ち致して居ります
◇カタログ
御申越次第贈呈
蓄音機
と
レコード（ビクター
とテイチク）
中矢一郎商店
聖市郵函二九九五

法律
◎各般の御相談に應ず
一九二九年創設
牧法律事務所
義爾
郵函聖市一七五七番
電話二一七二三二番
自宅電話八一二〇七一番
御問合せは返信料封入のこと
呼寄
Praça da Se. 34 - 6.° and. - S|608 - S. Paulo

胃腸病に
大谷式
藏

病弱兼
大谷式
藏

結核病に
大谷式
藏

聖市グローリア街三五二
電話二一六八四八
◎毎日曜日コチアへ出張診療（室永氏方）
Rua da Gloria 352
S.Paulo
（Largo do S.Paulo）
淺倉齒科院

診察　午前九時ヨリ
時間　午後五時マデ
北大醫學士
今田求
リンス市
電話　一四三
郵函　二〇三

料亭千鳥
ビネイロス　フエルナンデアス　五二
（女給さん數名入用）

齒科醫
寶臣衛
アラサツーバ市
郵函二〇八

胃腸に
大谷式
藏

胃腸
大谷式
藏

子供に
大谷式
藏

Redacção e Administração
Rua Pires da Motta, 381 S.Paulo
Tel.7-1614

NAMBEI SHIMPO

Director J. V. França　Proprietario Paulo Iquenaga

S. Paulo, 11 de Novembro de 1937

續る解瓦の謎人々

悟道軒圓玉（作）
丸尾至陽（畫）

（二三）不思議な對面

庄『お花さんこゝはお前の住居か』

花『且那に死なれてね、今はこゝに居て後家なんですよ』

庄『お前のやうなものを永く後家にはして置くめえどうだい、もう一遍淺草の三社前へ水茶屋を出しては』

花『もうお茶屋の姐さんにはならないの、そんなことはようございますが、親分は泥棒をさがしてゐるの、御苦勞樣だね、舟に乘つて川の中をうろうろしてゐて』

庄『ウム、涼みに來たわけではねえ、今いつた通り追ひ込みものがあつて、この大橋で御用にしやうと思つたが、そいつが橋から川へ飛び込んだ、それで舟を出してさがしてゐるンだ』

花『おやまアさう、中洲をさがして御覽なさいナ、あの洲の中にかくれてゐるかも知れないね、それとも拔裏を通つて新道へ出たか』

庄『馬鹿なことをいひなさんな、川の中に拔裏なぞあるものか』

花『まア親分お上んなさいよ』

庄『御用先だ、お前のところで油を賣つてゐる事も出來なかろう……どうした、中洲には見えねえか』

うしろを振向いて聲をかけた、續いて舟が二艘ほど來たが

○『親分ッ』

居ねえがどこへ行つたかね、まアもう一べんたずねて見ませう、イヤこれはお花さん、こゝはお前さんのお屋敷かね、粹な家だな』

花『オヤまア留さん、今夜は御苦勞樣、泥棒をさがしてゐるの』

留『ウム、大泥棒よ、金や品物を盜む奴ぢやねえ、人の命を盜んだ大泥棒さ時に親分こんなに川を探して刨らねえやうでは、陸へ上つたものでせう舟を捨て、今度は河岸を探して見ませう』

庄『それもさうだな、ではお花さんこの次に遊びに來るよ』

花『來てトさいよ、親分氣をつけてお出なさい、大橋の下には河童がゐますからね』

庄『河童に引き込まれるやうなまだ老ろくはしねえつもりだ、さア舟を返せ返せ』

と、庄七を初め手先の集つた舟は深川の方を指して漕ぎ戻る、それを見送るお花

花『あゝなんだか冷て來たよ』

といつて木戸から内には入り

花『おかねや、まだ寢てゐるの、この驚きによくさう寢られるものだね』

といひながら自分の居間に來たが、この折二階でカタりといふ音がした、鼠でも出たかと見上げる途端に徐に梯子を下つておりてゐる者がある

花『誰だえ、二階にゐたのはオヤお前さんは男だね』

とお花は咎めた

○『靜かに致せ、お花、こゝが貴樣の住居とは知らなんだの、俺だ』ズイとそれへ進み寄る、蚊帳の前にあつた行燈の光に照し出されたその人はお花の戀人三島三郎でした、ピッショリ衣類は濡れて、髮は乱れ顏の色も變つてゐる、お花はびつくりして

花『三島さん、どうしてお前さんはこゝへ來たの』

○『今この川岸へ舟をつけた御用閊共が貴樣に話した大泥棒は拙者だ』

お花はいよ／＼驚き

花『お前さんは堀樣の御家來で立派な御武家であり乍ら泥棒してゐたの』

三『如何にも俺は賊であるが、しかし金には目はかけぬ、主人の恥辱を雪ぐために人の命を盜んだ、その事についてはいふ可き事もあるし、しかしこの姿ではこゝを立のくこともなるまい、衣類を貸して呉れ』

花『まア待つて下さい』

と自分の浴衣を出した、三島三郎は濡れた体を拭ひ浴衣を着てそこへどつかと座したが、お花はなんで三島が人を殺したかと呆れてゐる

人生は五十から

年齢はとつても 衰へません

精神生活は積極的努力家は益々銑煉され

安逸者は早く老いる！

今の世の不安の一つは、老人と青壯年との相こくに原因するといはれてゐます、それは保守的な老人に對する進歩的な青壯年の反撥といふのでせうが

しかしながら肉體のおとろへをみせてゐる老人必ずしも精神においておとろへをみせず、肉體の旺盛な青壯年かならずしも精神において進歩的であるとはかぎらないのが實際で、老朽に對し若朽といふ言葉のあるのをみてもわかります

また先頃惜まれて卒然と去つた高橋前藏相や西園寺老公が、いかに精神生活において若くゆたかであつたかは何人も知ることでせう一體人間の精神生活は幾歳までおとろへることなく行はれてゆくものでせうか

精神と肉體の關係

この問題の解答をうるにはいはゆる精神と肉體との關係について考へる必要がありますが、疑ひもなく精神は肉體に大きな影響をあたへ肉體はまた精神に強く作用するもので、原則として健全な身體に健全な精神が宿るといへませう

精神活動は五五迄

ところで人間の精神活動の中で、想像力や記憶力のやうなものは二十五歳までゞその後はおとろへてゆきますが

復雜な人生の諸問題

これを整頓し統一し、またはこれを實行に移す側の能力はその後益々發達してゆくもので、この精神活動は大體五十歳から五十五歳まで活潑に營まれてゆくとされてゐます。勿論これは各人の素質によると共にまた努力によつても相違してくることです

素質と努力で違ふ

即ち人生に處してゆく態度が幾分かでも積極的であり一家親族をひきゐてゆく責任を一身に感じ、常に適當の緊張感を味はつてゐるやうな人は何事に對しても受身で責任のない安逸の中に身をおいてゐるやうな人よりは多くの場合その精神は若々しくゆたかであるものです

こゝ

のことは今まで社會的に責任ある地位にゐた人がいん退して急に老いこんでゆくのをみても、また婦人の中でも何か社會事業などにたづさはつてゐるもの、方が若々しいのをみてもわかります。これを生理的に說明すれば

腦の細胞が、頭を適當に積極的に用ひる人にあつては益々發育してゆくのに反し、頭を遊ばせておくやうな人では腦に脂肪が沈着し、鬱血を生じ、頭血管は變化し、細胞は縮を來してくることによります

精神生活の練磨法

では精神生活を常にゆたかにいつまでも水々しく保つにはどうしたらい、か？平凡なことながら

◉それは自分の歳を自覺しないこと

◉希望をもつこと

◉安逸に流れぬこと

◉成るべく積極的にすゝんでゆくこと

◉適當な活動と休息をとること等であります

男女相愛の秘訣傳授

夫婦喧嘩で夫に反省させる秘訣傳授……（二三）

夫婦喧嘩は平和の一手段

夫に惚させる秘訣はいろ／＼あるが、こんな事も又その一つであらう

新婚後半年も經つた夫婦の、そろ／＼と、互に倦怠心が出て來て、時にお互の腹の蟲の居所でも惡い時には、心中に面白くないから、なんとなく物事が角度が出來て、一ト言二言の言葉が、所謂賣り言葉に、買ひ言葉で爭ひとなる妻が夫に口答へをすると、夫の機嫌はます／＼惡くなつて遂には一ツ二ツ位は叩く、叩かれた妻はそのまゝ、夫の爲すまゝになつて居る時は、夫はとイクラ怒つても、さつぱり張合がなく、全くのれんに腕押しで、喧嘩の相手がないから、口でこそブツブツと云ふが心の中では『ア、可哀そうな』と云ふ憐憫心が起つて來て、自分から後悔をする、後悔の結果は妻に愛着心をそゝぐ事となる

それ故夫婦げんかの時は、決して夫と爭つてはならぬ

饒舌の人は輕卒で短命となり易い

御婦人よ、お愼しみが肝要

子供に傳染する

『口は禍のもと』といふ格言を一ツ科學的に檢討して見ませう。

饒舌の人を生理的に見ると先づ耳が早い耳が早いといふのは耳そのものもさをいのですが皷膜に感じた音聲を腦の知覺神經に導く動作が早く、更に腦から口を動かす動作に移る時間が早いこの動作を常に敏速に行ふためには人一倍のエネルギーをつひやすためにどうしてもヂックリ思考するエネルギーの不足を來すため輕卒になりやすく、更に、唇、舌、聲帶その他の運動過度をも加へて饒舌家はどうも短命になりやすいのです。

神經質

饒舌家には神經質の人が多い、われ／＼神經には感情を制止する迷走神經と興奮させる交感神經の二ツあります、神經質の人は常にこの交感神經を刺戟されておしやべりするので、平易にいへばヂット口の筋肉をひきしめて感情を抑制するだけの度量に缺けてゐるわけです。婦人が男子より神經質でおしやべり、といふのもこの結果で婦人の舌はおしやべりをシやすい樣に男子より薄手にでき上つてをります。かくして饒舌家が感情を抑制し得ず往々人を罵つて自己を傷つけてゐることは遺憾の極みです。

習慣と饒舌

饒舌は以上にのべた先天的のもの以外に習慣性を多分に持つてゐます。即ちしやべりつけるとよくしやべれるやうになる。よく人に接すればしやべることが上手になる。都會の人がしやべることが巧みで山間僻地に住む人々が啞者のやうに無口である如きものです。

社交と饒舌

社交の根本要素は他人に好感を與へることです。巷間往々にしてお世辭、即ち極端にいへば饒舌が社交の一手段のやうに考へられてゐるのは非常なあやまりではないでせうか、能辯必ずしも雄辯にあらず、温顏隻語を發せずしてよく衆を魅了する人物こそ眞の意味の社交家ではないでせうか。

饒舌家の防止

には先づあなたのお子さんから氣をつけませう。

一、戶外の運動を奬勵すること……神經質にさせぬためです。

二、子供たちの外出にはなるべく靜かなところを選らぶこと……人込みやデパートなどは以ての外です——（一）と同樣の意味で

三、無駄話の仲間に子供を ひき入れないこと……なるべく靜かな時間を與へて精神的の修養を與へること——子供は環境に支配され勝ちです。

四、あなたのおしやべりをお愼しみ下さい

子供はすぐ眞似をします殊に絶對に信賴するお母さんの……

△

はらぺこにして夜ふかしすれば

——皮肉なやせたい秘訣——

肥り過ぎて困ると云ふ苦情をよく耳にいたしますが、それには甲狀腺や腦下垂體や卵巢等の內分ぴつの異狀と、さうした症狀はなくして自然にふとつて來るものとがあります、前者には種々の藥がありますが醫師に相談してからでなければいけません、後者は次の樣に勞働をしなければなりません、入浴殊にむし風呂どもまた、脂肪を減するために有効な方法です、下劑をかけるのも一つの方法ですが、下劑を濫用すると健康を害しますから余程注意を要します。

△

なものを多く攝り、いも、豆肉類などを少くたべるやうに心がけて水分もあまり多くとらない樣にいたします睡眠も出來るだけみぢかくして、一日に六、七時間以上ねむつてはいけません、また運動も必要であつて、毎日汗をかく位の運動または勞働をしなければなりません、入浴殊にむし風呂どもまた、脂肪を減するために有効な方法です、下劑をかけるのも一つの方法ですが、下劑を濫用すると健康を害しますから余程注意を要します。

△

極東飛雲斷片

支那軍事通がシャンハイに於ける皇軍の作戰を蠅取紙作戰だと呼んでゐる。

その わけをきくと『ナンキンへ攻めて行つたところで犧牲が多くてツマランからちつとシャンハイに腰をおろして支那軍を手許に引き寄せ出て來るヤツをその都度叩き伏せて徐々に支那軍の抵抗力を殺ぐ。その裏で北支に大いに發展するのだと。全くその通り蠅取紙作戰とはうまいことを言つたものの

△

北支で『降定通り』刻々南方へ敗走又は退却してゐる支那軍の上空へ時々日本の飛行機が飛んで來ていろんなビラをふり撒く。このビラには第二十九軍願間として廣安門事件で負傷した櫻井小佐が、骨での敎へ子たる支那兵に向つて『ツマラン仲間殺しはよしておとなしく降服しろ、降服がいやなら早く黃河以南に退け』と情誼のこもつた諭告を記載してゐるといふ。

△

南京政府航空委員會に顧問として傭はれてゐる米人飛行士ウィリアムLアンドラスといふ男は外人記者團に面接左の如く豪語した。

南京政府には自分の如き外人顧問がうんとゐる。

何人ゐるかは言へぬが我々は支那を助けて日本をやつつけてやるのだ。日本海軍に對する我々の返事は『ゴーツーヘル』（地獄に行け）だ

一說によれば支那は新に外國から防空用の兵器をうんと手に入れたと言はれる。

△

皮肉な運命の惡戲によつて約二百名の支那人苦力が慘死した事件——さる日、日本の空軍が蘇州を襲つた時驛の前で支那人苦力が二百名ほどランチを食べてゐた日本の飛行機が現はれると忽ち彼等は隱れ場所を求めて驛頭にあつた列車の下にもぐりこんだが、その列車こそ空襲の目的物であつた苦力の大半は列車と共にみじんに吹きとばされたが、中食を取つてゐた空地には一彈も投下されなかつた。

△

北支の明朗化と共に求人殺到して居るが、此程興中公司から自動車運轉手百五十名某社より百名等の大量求人あり、○○日朝からこれが詮衡を開始した

全國陸海軍の將校の家庭夫人よりなる將校婦人會では刻下に極寒に向ふ支那各地で善戰苦鬪する皇軍將兵のために此度慰問品として、冬支度の毛糸又はスコツチの靴下を送ることになり各將星の夫人等二百數十名集會し、一針々々に銃後の熱を籠めて靴下編みを始めたが、この擧を聞し召された各宮家でも若干の御引き受を仰せ出され、又武藏野女子學院高等女學校でも編方申出でる等冬仕度慌兵の企ては着々と進められてゐる

△

日本政府は戰時輸入制限法により本日來年一月一日まで外國映畫の輸入を一切禁止す。

△

米國大使が南京大使館を引あげて米國砲艦へ移轉したが支那人の多數はこれを以て日本側をヘルプする行爲と見なし米人に對し惡感を抱くに至つたが市內を步行する米人を見るや惡口雜言を言ひ直接間接に侮辱する態度に出て居る、外國人居留者中にも米人の態度を罵る者が多數ある模樣である

△

全國百万の學生よりなる憂國學生聯盟では三十日夜九段軍人會館に暴支膺懲學生大會を開催し、青年學生として、愛國の雄叫びを擧げ事變に對する固い決意を表明する事となつた。

當日參加する學校は期日關係より東京だけで東大を始め官公立大學三十余校が代表として出席、宣言決議を決定し之を當局に傳達する他、駐日各國大使に聲明書を傳達、ヒットラー總統、ムソリーニ首相に打電する他出征皇軍將兵に對しても慰問打電し、各校代表が熱辯を揮ふはずで、當日は貴族院議員井田磐楠男、元駐獨大使本田熊太郎等の特別講演がある。

△

南京大爆擊に先立つて外人に避難をすゝめた長谷川中將の豪膽ぶり——去る日紐育タイムス特派員アベンド氏が質問十五項を携へて出雲に司令長官を訪れた時中將は純白の制服でコツ／＼と甲板を散步してゐた、アベンドは書いて曰く『白服では對岸の浦東にゐる支那兵に絶好の目印となるのに、このアドミラルは平然として甲板を散步してゐる、何とまゝの豪膽なことだ』と

讀者衷心の叫び

福島縣海外協會
ノ聲明書ヲ讀ム
太平道人

兩小林氏齊藤氏對晋及會ノ件ニ就テ右會ノ聲明書ニヨレバ總領事館ニ責任ガアルカラ川上氏ノ責任ヲ明ニスベシト言ハル、筋合ハ別尤ト思フ然ラバ總領事館ヲ代表シテ島縣海外協會並ニ一般公衆ニ謝罪スルデアラウカト考ヘ來ルト、コレハ謝罪モセヌ不快決セヌデアラウト思ハレル、既ニ過去ノ事件ト認メ居ル以上何モセヌノガ當然デアルノミナラズ、海外協會ノ聲明書ハ徒ニ爭ヲ好ムモノトシテ取扱ハル、デアラウ

是ハ是ナリ、非ハ非ナリトスルハ科學的說明ニナルガ社會生活ノ解決ニハナラヌ社會主義ト稱スル廣大無邊ナル言葉ノ中ニハ官民ノ平等ヲ必シモ保證シテ居ラヌ從テ海外協會ト稱スル團体ハ總領事館ヲ判決スルコトハ如何カト思ハレル

正義ノ主張其物ハ固ヨリ詰構デアルト共ニ解決ニハ自ラ順序方法ガアル解決ハ無論可能デアルガ、浮世ノ歷史ニ徵スレバ順序方法ヲ經ズシテ成功シタ例ガ無ク、之ニ相當スル時間ガ必要デアリ、其時間ハ之ニ相當スル長サヲ有スルコトヲ免レヌ、時間ト空間ハ人間ノ如何トモスルコトノ出來ヌモノデアルガ、之ヲ短クセントスル者ガ急進派又硬派ニ屬シ之ヲ長クセントスルモノガ因循派又ハ軟派ニ屬シ必要ナル時間ニ服從シ一切ノ言揚ゲセヌ者ガ正義派デアリ惟神ノ道者デアル、此見地ヨリスレバ、海外協會ハ急進派ニ屬シ總領事館ハ因循派ニ屬スルガ故ニ何處迄行ツテモ解決ハ不能デアル、官ハ必シモ高ク、民ハ必シモ低キガ故ニ爭ガ起ルニ非ズシテ、絶對ノ神ニ人工ヲ加フルガ爲ニ起ルニ外ナラヌ、爭ハ『荒治ト』デ破壞ノ因デアル

林大將ハ祭政一致デ笑ハレ結城藏相ハ神憑リデ笑ハレタガ、コレ必シモ祭政ト敬神ヲ笑ツタ譯デハアルマイ、種々樣々ノ因緣撫理ガ然ラシメタモノデアラウ、近衛內閣ハ社會主義ヲ提ゲテ好評ヲ博シタガ社會主義ハ則惟神ノ道ニ沿ヒテ言揚ゲセヌニ非レバ、顯ハレテ來ヌ

近時無闇ニ聲明書ノ發表ガ續出シテ、民衆ハ政治化ニ惱マサレテ居ルトノ話ヲ聞クガ、實ハ不政治化ニ惱マサレルノデ、政治化ニハ惱マサレル筈ガアルマイ、祭ハ眞釣リデアルカラ、人心ヲ眞直グニ釣ルコトデアル內外多事、國際意識モ尖銳ノ折柄、聲明戰ヲ展開シテ好戰國民タルヲ自證スルハ最不利ト信ズル、當事者ノ和解ニハ別ニ道ガ存スルト思フ。

月掛
獻金
出征軍人慰問團
趣意書

今回ノ日支事變ハ段々擴大シテ今後何時マデ繼續スルカ判リマセン我ガ忠勇ナル將士ガ嚴寒酷暑シヨウ癒ノ地ニ轉戰奮鬪シテ居ルノハ誠ニ感激ノ至リニ堪ヘマセン

是等ノ將士ノ勞ヲ犒ラウ爲メニハ母國ハ元ヨリ世界各地ノ同胞ニヨリ色々ノ會ガ出來テ居リマスガ此種ノ會ハ事件ノ繼續スル限リ最初カラ終リマデ全一ノ熱度ヲ以テ慰問ノ實ヲ現ハスコトガ必要デアルト痛切ニ感ズルノデアリマス、就テハ此趣旨ニ於テ出征軍人慰問團ヲ設立シテ別項記載ノ實行方法デ實現シタイト思ヒマス、在留同胞各位奮ツテ御賛同、團員ニ御加入アランコトヲ祈リマス

規定

一、團員甲ハ一口五ミルレースヲ毎月醵金シ仝一人ニテ一口以上ヲ醵出スルコトヲ得
一、團員乙ハ一口二ミルレースヲ毎月醵金シ仝一人ニテ一口以上ヲ醵出スルコト得
一、醵金ハ便宜上數ケ月分ヲ纏メテ前納スルコトヲ得
一、慰問團本部ヲ臨時聖市日本人會內ニ置ク本部ノ費用ハ發起人ニ於テ負擔ス
一、聖市及ビ各地ニ世話人ヲ設ケテ集金ヲ行フ
一、醵金一定額ニ達シタル時ハ之レヲ總領事館經由母國ニ送金シ日支事變繼續中ハ絶エズ是レガ實現ヲ期ス

發起人
古谷重綱　宮坂國人
宮腰千葉太　多羅間鐵輔
菅山鷲造　高岡專太郎
杉本芳之助　明穗梅吉
石原桂造　渡邊儀平
（順序不仝）

常任幹事兼會計　菅山鷲造　杉本芳之助
出征軍人慰問團本部
サンパウロ日本人會內
郵函　聖市　三一二三

ブラジルの家庭醫書
醫學博士　高岡專太郎著
四六版九百八十餘頁金文字函入布裝釘美本　三色版二　銅版五　挿繪二百餘個【附錄】別冊
發行所　互生會
發賣所　東洋書店
サンパウロ市　郵函三一三八
定價三十ミル
送料一ミル

薄利
品質　本位
多賣
◇美味しくて
劇の利くお醬油
黑島印醬油
釀造人　黑島伊平治
北西線プロミツソン驛前